

2019 年度 事業報告

[1] 福祉会の実施事業について

よさみ野福祉会として、当該年度に行った事業の概要は以下の通りとなる。

- 1 障害福祉サービス 生活介護
- 2 障害福祉サービス 共同生活援助
- 3 障害福祉サービス 特定計画相談事業
- 4 行事等の開催あるいは参加
- 5 実習・ボランティア等受入

[2] 生活介護事業について

1 実施場所(2か所)

よさみ野障害者作業所	(定員30)
第2よさみ野障害者作業所	(定員15)

2 定員および利用実績について

(a) 定員	45 名
(b) 利用者数	47 名

※ 利用者については、年度当初45名であり、年度途中での新規利用者は2名、さらに年度内での退所者も同じく2名であり、年度末での利用者数は45名となる。

(c) 開所日数	251 日
(d) 延利用者数	10731 人
(e) 平均出席率	95 %
(f) 平均障害程度区分	5.05

※ 年度内にて利用者の出入りはあったが、当初の予定通りの利用者数であった。また、平均障害程度区分5.05と重度の利用者を受け入れつつも、平均しての利用率(出席率)は95%と非常に高いものとなっており、個々の利用者にとっても極めて重要な日中活動の場になっているものと思われま。

[3] 共同生活援助事業について

1 実施場所(2か所)

ぼむ	(定員5)
こりす	(定員4)

2 定員および利用実績について

(a) 定員	9 名
(b) 利用者数	9 名
(c) 開所日数	366 日
(d) 延利用者数	2980 人
	(内 ぼむ 1592 人)
	(内 こりす 1388 人)

- | | | |
|-----|----------|----------|
| (e) | 平均利用率 | 90.47 % |
| | (内 ぼむ) | 86.99 %) |
| | (内 こりす) | 94.81 %) |
| (f) | 平均障害程度区分 | 4.78 |
| | (内 ぼむ) | 4.82) |
| | (内 こりす) | 4.74) |

※共同生活援助(グループホーム)については、当初からの利用者に変更はなく、通年(366日)の生活の場として機能することができた。一部の利用者については週末などに実家への帰宅を定期的に行っており、平均しての利用率は90.47%となっている。

[4] 特定計画相談事業について

1 実施場所 よさみ野障害者作業所

2 利用実績

- | | | |
|-----|------------------------|-------|
| (a) | 利用者数(名簿) | 42 名 |
| (b) | 開所日数 | 251 日 |
| (c) | 延利用者数 | 247 名 |
| | ※利用支援あるいは継続支援の利用のあった回数 | |
| | (内 利用支援) | 50) |
| | (内 継続支援) | 220) |
| (d) | 加算算定数 | 326 回 |

※年度内での利用者名簿(総数)にほとんど変化はなく、実質の相談支援専門員が1名の中では現状の42名という利用者名簿はほぼ限界に近いものとなっている。
 その中で、今期においては精神障害者支援体制加算および行動障害支援体制加算などの各種加算申請が可能となり、より充実した支援内容を実現できたのではないかと考えています。

[5] 行事等の開催あるいは参加について

1 行事への参加

5月18日 山之内連合運動会
 7月5日 なかまの集い
 7月14日 あいあいあいまつり
 10月4日 バス旅行(主催)
 12月14日 合同クリスマス会

2 販売(授産)

- | | |
|-----|-------------------|
| (a) | 区役所販売(毎月 第1・3月曜日) |
| (b) | なごみ(毎週木曜日) |

[6] 実習・ボランティア等受入

1 介護体験実習等(大学生・介護・教職課程)

実習参加者	23 名
延べ実習日数	115 日

2 利用体験実習

実習参加者	5 名
延べ実習日数	15 日

[7] 職員関係

1 雇用職員

管理者・サービス管理責任者

3名

(生活介護)

生活支援員

調理員

医師

看護師

	常勤	非常勤	他と兼務
21名	8	13	5
2名		2	
1名		1	
1名		1	

(共同生活援助)

生活支援員

世話人

	常勤	非常勤	他と兼務
8名		8	5
4名		4	1

2 実施職員研修

年間研修回数

57回

延参加人数

61名

(新人研修関係)

9回

9名)

(人権研修関係)

4回

4名)

(支援研修関係)

18回

19名)

(実務研修関係)

16回

16名)

(運営研修関係)

10回

13名)

[8] その他、年度を通して

当福祉会にて運営する3つの障害福祉サービス事業はいずれも、予定通りの利用者数、利用率にありました。

しかしその内実では、今年度複数の利用者家族において入院などの理由により、生活介護の利用者には長期にわたり、ショートステイを利用せざるを得なくなったという事態が発生しています。

また、グループホームの利用者にあっても、家族の入院等の理由から一時帰宅を見送るという事例が発生しており、本人だけでなく家族の高齢化などによって利用者の生活環境が年々不安定なものになっていることが伺われます。

そういった事態に対応する力を法人としても付けていくべく、新たなグループホーム・短期入所の計画を開始しており、次年度中での開所を目指しています。

また、直接支援にかかる職員については、2名の正規職員を迎え、新たな体制のもと、職員向けの各種研修は様々な分野、そして課題に合わせて年間57回の外部研修に参加するなど、今後を見越した支援体制の拡充に努めているところです。